

鯖街道 熊川宿

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川

TEL/FAX (0770) 62-0330



大杉を行く山車(平成18年5月3日撮影)



白石神社祭礼賑やかに

五月三日、夏を思わせる快晴に恵まれ、白石神社の祭礼が行われました。

見送り幕に彩られた山車は、子どもたちのお囃子と曳き手の「わっしょい！」の掛け声と共に、国道を渡り大杉を含む熊川区全域を巡行することが出来ました。また、青年たちが担ぐ威勢のよいお神輿、女性の会のタコ焼きの露店も賑わいました。

大杉は熊川宿の玄関口ともいえ、近畿一の水質を誇る一級河川「北川」に沿って街道が伸び、主にその片側に家並みが続きます。そして、谷あいも狭まり山並みが一層美しく感じられます。

昨年度より「まちづくり事業計画」で、大杉を含めた活性化を目指しています。なかでも役行者堂や、向山への散策道となる木橋の整備などが望まれています。今後は、熊川区全域、若狭鯖街道の各地域が協力して発展することが期待されます。

熊川宿……………1

寄稿文……………2・3

寄稿文・事業計画・活動報告……………4

目次……………4

熊川いつぶく時代村……………5

熊川宿連続講座……………6

話題・川柳・あとがき……………6

熊川宿まちづくりについて

熊川区長 片山隆司

ではまちづくり委員会、女性の会をはじめ

区民の多くの皆様のご協力をいただき、無事

町が合併してから一年が経ちました。国、地方の財政危機が叫ばれる中、今後の合併による町行政への効果が期待されるところです。さて、今年度から区役員の任期交代が年度区切りとなり、四月から平成十八年度の区長を務めさせていただいております。

区長代理制度を取り入れたとはいえ、やはり四月は会議等が多くバタバタとして、あわただしい月でありました。早速五月には、恒例であります春の祭礼の実施、さらに若狭・三方五湖ツーデーマーチのイベント（長操なべの振舞い）



白石神社祭礼にて山車巡行

終わることが出来ました。祭礼には、晴天に恵まれ、山車の巡行を大杉まで行うことができ、誠にうれしいことでした。今後一層山車の扱いに慣れて、全区域を安全に巡行ができるようになっていくものと思います。また、ツーデーマーチは町が合併してコースの見直しが行われ、はじめて上中地域のコースが組まれました。あいにくの天候の中でありましたが、全国から参加された方に熊川宿の景観とともに、あったかい長操なべの振舞いで大好評を得たことも大変ありがたいことでした。

ところで、平成十四年からはじまりました下ノ町、上ノ町の景観整備事業が昨年度完了しました。大杉区域の整備など、まだまだ課題はありますが、一応の区切りとなりました。これまでの県・町をはじめとした行政関係、熊川区民の方々のご尽力にお礼を申し上げます。

さて、熊川宿の整備がすすみ、観光客も増加するとともにいろんな問題が発生してきております。

国道三〇三号線の歩道、バス停の改修、トイレの設置など熊川宿の今後の解決していかねければならない課題であります。

また、今年度は国土交通省による日本風景街道「若狭熊川・鯖街道」の現地調査やヒアリングが実施され、支援の具体策の検討が行われるとお聞きしております。

秋には、区民のおもてなしと観

光PRを行ういっぶく時代村のイベントも予定されております。重要伝統的建造物群の選定を受けてから十年が経過し、新たな出発とするため区民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。今後の熊川宿の発展に向け、まちづくり委員会の皆様の活躍をこの期待申し上げますとともに、区民の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

ました。そういえば、修理を行うお宅に行った時、大工さんの専門的な言葉にたじたじになったこともありました。また、その頃から永江さんから毎日次から次へとたくさんの資料が手渡され、全部読むようにという指示、これは今も続いています。やさしくも厳しい上司です。

熊川との出会い

若狭町教育委員会事務局 岡本 潔 和

四月から教育委員会事務局に勤務させていた三ヶ月が経ちました。この期間は、私にとって発見の連続でした。ちょっと振り返ってみたいと思います。

四月、何もわからないまま熊川へ通う日々。永江さんにたくさんの方を紹介してもらいました。みなさんと出会うことによって、熊川のまちづくりは、長い話し合いの積み重ねと、みなさんの熱意によって成り立っているということに気づかされ

五月、修理のお宅の写真を撮りに行ったり、宿場館に届けものに行ったり、一人で熊川に出かけることも多くなりました。そこで出会ったみなさんは大変気さくに声をかけてくださって話し込むこともしばしば。「また話し込んで遅くなってしまいました。」と事務所に帰ると、「これが岡本君の仕事や、どんどん熊川に入っていくってく

熊川に生まれ育って

福井 良江

私が熊川に生まれ
たのが四十年前：

少し昔の事を思い出してみたいと思いましたが、子供の頃と
言えば、学校から帰ると近くのお店屋さんに
行って綿菓子を作ったり、く
じ引きでスーパードールを集めたりして
遊んでいました。

その頃は百円持っ

て行けば、一つ五円か十円のお菓子がいっぱい買え、その中でも当たり付きのお菓子を先に買って、当たりが出たらお店の前の椅子にみんなで座り、食べてから松木神社でゴムとびや鬼ごっこ、かくれんぼなどしたり、上

ノ町へ行き大岩さんに登って遊んだり、夏になれば国道を渡って、今では考えられないかもしれないけれど北川まで行って泳いだりもしました。

成人になって、教員の足田というところに住む事になり、



旧逸見勳兵衛家付近(愛知県 伊東 勝氏・画)

熊川が重要伝統的建造物群保存地区に選定されたこと
によって、テレビや雑誌等でよく見かけ、いろんな人達に知れ渡り、熊川宿の事はよく耳にしておりました。
私には兄がおり、幼い頃の友達と一緒に遊んでもらった記憶があります。その頃、その友達の

熊川に住んでいた時はまったく足田の事を知りませんでした。熊川と同じ宿場町ということもあり、道路に沿って家が建ち並び、家の前には川が流れており、初めて来たところとは感じませんでした。おかげですんなりと足田に溶け込む事が出来ました。前に流れている川は舟川と言ひ、荷物を運ぶための舟が通っていたと聞き、私が小さい時、熊川の裏の北川にも舟で荷物を運んでいた事をおぼあちやんに聞いた話を思い出し、本当に熊川によく似た町並みだと思いました。最近、その舟川についての展示場も造られたそうです。一度見に行かれてはどうでしょうか？

れ。」という永江さんの言葉。これには励まされたものです。その頃には、熊川の住宅地図を片手にみなさんのおうちを覚え始めました。このお宅は「袖壁卯建」、このお宅には「越屋根」があるといった特徴を見つけるのが楽しくなってきたのもその頃でした。また川越で開催された伝建の総会にも出席させていただきました。全国の担当者とお会いでき、とても刺激的な三日間でした。

六月、まちづくりの会合などにも参加させていただきました。「熊川に住む人々の生活が最優先、観光よりもまちづくりの視点を大切にしたい。」とい

中に、今では熊川の町家の代表として町指定の文化財にもなっている旧逸見勳兵衛宅に住んでいたという事で、家によく遊びに行ったりもありません。そういう事もあつてかテレビ放送で見かけるとなんだか不思議な気持ちになったものです。

昨年また熊川に住む事となり、私の子供の頃と違い電柱がなくなり奇麗に整備され、たくさんのお

う会長のお話しにはとても感銘を受けました。また、熊川を知るにつれて、いろいろと興味があわいてきました。「熊川文書」「沼田氏」「大杉」「倉見屋」「番所」など。最近、これら熊川の歴史の「コマ」をイメージしながら街道を歩く。そんな楽しみ方を見つけたことが出来ました。

熊川には語り尽くせない多くの歴史遺産と、語り尽くせないまちづくりの歴史があります。それらをひとつひとつみなさんに教えていただきながら、それらを少しでも人に語れるようになりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

光客の方達が見学に来てくれるようになり、ここまでにするには大変なご苦労があった事と思ひます。この伝統を子供達にも繋げていき守っていかれたら大変嬉しい事です。私もこの熊川の一員としてお役に立てられたらと思ひます。



「熊川宿」への想い

西村 祐子

熊川にお嫁に来て七月で四年がたとうとしています。私はとなり町の美浜町坂尻から嫁いで来ました。「お嫁さん」というと若い響きですが、ただ今三十九才です！(笑)

子育てまっ盛りです！高校生の息子と三才と一才の娘たちに振りまわされ毎日を過ごしています。

こんな私でも育児にストレスを感じてくると「熊川宿」まで二人と散歩に出かけています。我が家は熊川小学校の前にあるため、「熊川宿」とは一緒に生活を送れませんか。だからか「熊川宿」はいつも新鮮さを感じさせてくれます。落ち着いた風景、古風な町並み、前川の透き通ったきれいな水。「熊川

宿」には人間に必要な「ゆとり」、「いやし」の宝

物があちこちに溢れています。その宝物を大事に守ってくれているのが、町並みに住んでおられる方々の「熊川宿」への熱い想いと住みよいまちづくりに努めてくれている努力のお陰だと思えます。

私は温かい心の通い会う熊川が大好きです。もっともつと熊川に染まり先祖の遺産である町並みを大切に、先輩から熊川の歴史を教えて頂き、子供たちが熊川を愛し思いやりのある豊かな人間として成長してくれる事を願いながら「熊川宿」を大切に守っていこうと思います。そして五年後には娘たちが元気に熊川小学校へ通いながら祭りには山車に載って鉦をならしている姿を楽しみにしています。

平成18年度

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

事業計画

5月20日	ツデーマーチおもてなし
24日	伝建協全国大会(川越)出席
下旬	案内板の補修
6月上旬	井戸ポンプ工事開始 (平成17年度より継続)
16日	平成18年度第1回委員会
中旬	城跡・一帯美林街道の整備
7月上旬	内子町石壁の宿研修者募集
8日	ラムサール条約「三方五湖」 ホーリング調査現地見学会出席
中旬	町並み通信第13号発行 (キャッチフレーズ募集開始)
9月15日	研修旅行(ダム対共催)
11月下旬	町並み通信第14号発行
2月	熊川宿まちづくり総集會
3月下旬	町並み通信第15号発行
随時	町並み関連の駐車場、前川、 道路、神社の清掃と草刈り 委員会、役員会の開催
その他	つるの会研修 つる細工や民芸品の学習會

平成18年度・第7回

熊川いっぶく時代村

とき 平成18年10月15日

ところ 鯖街道熊川宿一帯及び道の駅「若狭熊川宿」

主催：熊川いっぶく時代村実行委員会

●屋敷でござる in 熊川宿 ●山車巡行 ●プリキの金魚レース ●太鼓 ●神楽 ●葛湯の賑る舞い ●朝市物産展 など

活動報告

2/11 熊川宿まちづくり総集會

千田千代和町長をお迎えして、若狭町の自然環境の現状や熊川宿についてお考えをお聞きしました。

「文化を守っているすばらしい熊川宿、ラムサール条約で環境が認められた三方五湖。自然を大切に守り歴史を掘り起こし、日本ら



しさの伝統をのばして、長期滞在できる観光・環境の町を目指したい」

また語り部の中塚政雄さんは、熊川の思い出とともに、「熊川が賑わいを取り戻して嬉しく思っています」と話されました。

5/11 宿場館前に井戸ポンプ復元

かつて生活用水として使われていた宿場館前の井戸と、がっちゃんポンプが復元整備され、良質の水が湧き出ています。



今後、水質検査を経て、町並みにふさわしいあずまやが整備される予定で、観光客の休憩処となりそうです。

地域づくりアドバイザー事業 熊川宿連続講座 (5回シリーズ)

とき 平成17年12月6日 ～ 平成18年1月31日
ところ 旧逸見勤兵衛家
主催 若狭町教育委員会
テーマ 熊川まちづくり型経済活動の推進

熊川宿にゆかりのある先生方をお迎えして、熊川宿連続講座が開かれました。これまでのまちづくりの経過や現状をふまえて、今後の課題やご提案をお聞きしました。

①開催日 ②講師 ③プロフィール ④テーマ ⑤講演内容

第1回

①12月6日

②井上和治先生

③ラビユタ創造研究所

④武生 蔵の辻のまちづくり



プロジェクトで武生「蔵の辻」を鑑賞しながら、「持続可能なまちづくり・ライフ

スタイル・NPO」をキーワードに講演頂きました。

⑤ 技能や才能を持った方に移行住んでもらい、ギャラリー、演奏会、大神楽、着物でライブ等を催している。なかでも大神楽は好評。地域が持っている資源環境を見つめて、持続可能なまちづくりを実現していく。

これからはスピード性、信頼性、継続性が求められる。

世代を繋ぐ仕掛けが必要。基盤としてNPO法人化してはどうか。

第2回

①12月15日

②吉田桂二先生

③連合設計社市谷建築事務所代表取締役

④自立したまちづくり

⑤「売らない、貸さない、壊さない」の三本柱であってほしい。

旅行者は、

定年後の夫婦や女友達の小グループが多く、店の人がいい人だともう一回来たくなり、友達を連れて来たくなる。

昼間を滞在型に、伝建地区に宿泊できれば、なお理想的である。

勤兵衛家で宿屋、葛の晒し場

をしようか。



第3回

①12月19日

②岡田文淑先生

③国土庁地域振興アドバイザー

④内子のまちづくり



「石畳の宿」村づくり活動をビデオ鑑賞しました。

⑤ 勤兵衛家をおもてなしの場や宿屋として活用してほしい。

熊川宿は静かであることが最大のもてなし。小グループが前川のせせらぎを聞きながらそぞろ歩き、ゆっくり過こしてもらおう。

熊川らしさを自覚し、二十一世紀のビジョンを描いてほしい。

第4回

①1月20日

②福井宇洋先生

③福井大学工学部建築建設工学科助手

④お店の表構え

プロジェクトを鑑賞しながら、全国各地の町家の看板や店構えを考えました。

⑤ 町並みにそぐわない物は工夫が必要。

文字看板だけでなく、大八車

なども時代を感じ



第5回

①1月31日

②西村幸夫先生

③東京大学工学部大学院教授

④日本と世界のまちづくり



⑤ 石見銀山「大森地区」は、来年六月世界遺産になるが、通りすがりのツアー客

急増が懸念され、駐車場や案内板を保存地区から離して、来たい人だけ来てもらうよう工夫している。

技術さえあればどこにあってもよい会社や、はっきりしたコンセプトがある店が成功している。

空き家は、楽しい田舎暮らしを實踐できる宝の山である。

鯖街道は起点、終点がはっきりしていて全体がよく残っている。

街道全体をセットでプロデュースし、改修をチェック。環境に優しく経済性のあるものを考える。

道路が整備されて目的の地が近くなり過ぎても風情がない。道行きをいかにうまく演出するかが大切。

1/25

文化庁 西山和宏先生を囲む会

初めて熊川宿へ来られたご感想やまちづくり、最近の重伝建選定状況などをお聞きしました。



「上・中・下ノ町とそれぞれ風景が違っていい。熊川出身であることに誇りを持って、子どもたちになつと住んでもらいたい。重伝建地区が増えることによって関心が高まり、相乗効果で発展してほしい」

3/20

てっせん・熊川音頭 練習開始

(熊川宿伝統芸能保存会)



てっせん踊りと熊川音頭の練習会が始まりました。踊りはもちろんのこと、音頭取りに挑戦したりと楽しみながら練習しています。毎月十日と二十日の夜、熊川児童館で行われています。

5/20

ツーデーマーチおもてなし

熊川区・熊川宿まちづくり特別委員会・女性の会が四十キロコースの来訪者に長操なべを振る舞いました。



あいにくの雨にもかかわらず、延べ千人を超える人々が新コースとなった熊川宿を訪れました。

5/24

伝建協全国大会(川越)に出席

千田千代和町長はじめ、若狭町教育委員会、熊川宿町並み保存伝統技術研究会、まちづくり委員会の代表が全国伝統的建造物群保存地区協議会総



会川越大会に出席しました。全国各地からの事例発表や記念講演をお聞きし、郷土芸能を鑑賞して情報交換会などで交流を深めました。

5/28

熊川宿語り部ハイキング

(熊川自主学級)



五月晴れに恵まれ、住民約五十名が二班に分かれて語り部さんの案内で町並みを散策、熊川宿の良さを再発見しました。その後、新緑深まる松木神社境内でお弁当を広げ、ピクニックも楽しみました。

7/8

三方五湖ボーリング調査見学会

平成十八年度第一回縄文学講座が開かれ、まちづくり委員会から代表が出席しました。



ラムサール条約湿地リストとして登録された三方五湖の水月湖湖底土ボロリング調査をレイククルーズ船上から見学。午後は地質や環境について講演がありました。

川柳で町並み散歩

- ・番所にも喜怒哀楽の歴史知り
- ・また来た
- ・その一言が村おこし
- ・遊ぶ子の積み木未来のまちづくり
- ・紫陽花に一雨ほしいと
- ・囁やかれ
- 功

あとがき

◇十二月と一月の大雪には大変驚きました。そんな寒い季節の中、全国各地から先生方をお迎えして熊川宿連続講座が開かれ、熊川宿の未来像についてご講演やご提案をお聞きしました。

また、文化庁の西山和宏先生や、熊川宿まちづくり総集会での千田千代和町長のお話にもありましたように、今後は熊川宿の伝建選定地区のみならず、鯖街道の各拠点とも連携を図り、環境・観光面をも考慮しながらのまちづくりが望まれます。

◇まちづくり委員会では、当広報紙、町並み通信「鯖街道熊川宿」の表紙タイトル部分にふさわしいキャッチフレーズを広く募集いたします。熊川宿らしい親しみのある作品をお待ちしています。別紙募集要項(応募票)を作成しましたのでご利用下さい。

編集委員